

第14回日本歯科色彩学会の開催準備状況

大会長 天野 義和
奥羽大学歯学部歯科保存学講座

入梅の候となりました。

会員の皆様、ご健勝にてご活躍のことと推察致します。

我々奥羽大学歯学部の日本歯科色彩学会員は、佐々木重夫準備委員長の采配のもと来る7月29日・30日の第14回日本歯科色彩学会に向けて準備の最中です

会場が田舎ですので演題が集まるかどうか心配していましたが、皆様のお陰で程良い演題数を頂きました。

今回は温泉地と言うことで「足湯」は勿論のこと、是非「入浴」をして頂くよう入浴タイムを29日(土)にとり、タオルを用意しています。この入浴タイム以外でも入浴は可能です。なお、会場の清稜山倶楽部の温泉よりも当大学の保養施設「無垢苑」(入浴時間：7月29日16:00~20:00, 7月30日7:00~15:00)の源泉が自慢です。「無垢苑」は清稜山倶楽部の隣に位置しています。

会場はのんびりとした田舎です。予め電車やバスの時間をご確認下さい。温泉事情を長々と述べましたが、主目的は第14回日本歯科色彩学会の開催です。多数の会員の皆様のご参加をお待ちしています。

開催場所 清稜山倶楽部 (TEL. 0249-84-2811)

平成18年7月29日(土)

12:00~15:00 役員会

15:00~16:30 特別講演「心を元気にする 健康を表現する色」

講師 ハート&カラー 末永蒼生先生

16:30~18:00 休憩(入浴)

18:00~20:00 懇親会(清稜山倶楽部)

平成18年7月30日(日)

9:30~10:00 総会

10:00~

【口頭発表】

1. 早期体験学習“歯の色と測色”受講後の新入生に対するアンケート調査

細矢由美子

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科, 小児顎口腔発達管理学分野

2. シェードガイドを用いた視感比色法における歯肉色 GUMY の影響について

高 承志, 劉 海山, 片山伊九右衛門

北京大学人民医院口腔科口腔色彩研究室

3. 陶材の各種顔料比率による隠蔽力について

—特に光線透過率とTP値, CR値, ΔL^* , Δa^* , Δb^* との関係について—

片山伊九右衛門, 高 承志, 岩崎嘉代¹⁾, 鬼島成和¹⁾, 森 純信¹⁾, 市村 葉¹⁾, 片山 直¹⁾

北京大学人民医院口腔科口腔色彩研究室

¹⁾ 明海大学歯学部機能保存回復学講座保存修復学分野

4. 審美性歯面コート材の透明性について

岡 正信, 小竹宏朋, 作 誠太郎, 堀田正人, 山本宏治

朝日大学口腔機能修復学講座歯冠修復学

5. 歯型彫刻用ワックスの色調の変化による眼調節機能変化について

小暮ミカ, 金子 潤

明倫短期大学

6. 銀塩エックス線フィルムの色学的対応の試み

高橋和裕, 佐藤穂子¹⁾, 佐々木重夫¹⁾, 齋藤高弘²⁾, 天野義和¹⁾

奥羽大学歯学部放射線診断学講座

¹⁾ 奥羽大学歯学部歯科保存学歯内療法学分野

²⁾ 奥羽大学歯学部診療科学講座

7. レーザー蛍光測定装置を利用した歯牙テトラサイクリン着色症の診断

永井茂之

永井歯科診療室

13:00

【ポスター発表】

1. コ・デンタルスタッフのユニフォームカラーに関する意識

—第2報 診療用エプロンについて—

山口秀紀, 山本憲廣¹⁾, 池見宅司¹⁾

日本大学松戸歯学部歯科麻酔・生体管理学講座

¹⁾ 日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座

2. 歯面コート材の水中浸漬に伴う経時的色調変化

天野紫乃, 安藤 進, 宮崎真至, 細矢由美子¹⁾

日本大学歯学部保存学教室修復学講座

¹⁾ 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科, 小児顎口腔発達管理学分野

3. レジンシェードの中間色の識別

福嶋千春, 平山聡司, 山口秀紀¹⁾, 上江洲香實²⁾, 久光 久³⁾, 池見宅司

日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座

¹⁾ 日本大学松戸歯学部歯科麻酔・生体管理学講座

²⁾ 日本大学松戸歯学部数学教室

³⁾ 昭和大学歯学部う蝕・歯内治療学講座

4. コンポジットレジンの透明感の指標

大場志保, 河野善治, 鈴木英明, 勝海一郎¹⁾, 元呑昭夫²⁾, 池見宅司

日本大学松戸歯学部う蝕抑制審美治療学講座

¹⁾ 日本歯科大学歯学部歯科保存学講座

²⁾ カラーランド研究所

5. 義歯床用レジンに対するアパタイト被覆型二酸化チタンの応用

—紫外線照射による色調および物性の変化について—

澤田智史, 澤田智慈, 星 憲幸, 柴田武士, 田中欣也, 木本克彦, 豊田 實

神奈川歯科大学顎口腔機能修復科学講座

6. テンポラリークラウン製作用常温重合レジンの色調変化

—表面粗さの違いによる影響—

竹内 操, 小笠原延郎, 鈴木 亨

奥羽大学歯学部歯科補綴学講座

7. 新しい簡易測色器について

小澤有美, 廣瀬直子, 村井宏隆, 岩崎 覚, 片山 直

明海大学歯学部機能保存回復学講座保存修復学分野

8. 表面改質剤を適応した漂白エナメル質の色調変化

玉岡慶鐘, 帆足亮太郎, 東光照夫, 久光 久

昭和大学歯学部齶蝕・歯内学講座

9. 炭酸ガスレーザー照射後のエナメル質表面性状におよぼすフッ化物の影響

菊井徹哉, 五月女 稔, 横瀬敏志

奥羽大学歯学部歯科保存学講座保存修復学分野

15:00 閉会

資生堂見学会開催される

去る3月8日(水)、見学会委員会主催の資生堂ビューティークリエーション研究所見学会が開催さ

れました。平日の昼間という会員の皆様には大変参加しにくい設定で、人数が集まらないのではないかと
という主催者側の心配とは裏腹に、ご案内の1週間後には定員満席となってしまう、資生堂様には会場
の許せる範囲で座席を増やしていただき、35名の出席者で盛況に開催されました。キャンセル待ちの
先生には大変ご迷惑をお掛けしましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。

今回の見学会では、資生堂ビューティークリエーション研究所ならびに資生堂ビューティーサイエン
ス研究所の施設見学、口元の美しさに関する講義、メイキャップのデモなどが行われました。施設見学
は小班に分かれて、人工気候室・リアルタイムメイキャップシステム・スタジオ・マサ大竹の美容サロ
ンなどを案内していただきました。講義は「口もと」をより美しく魅せる演出法と題して、矢野裕子先生
より口唇の形、歯を美しくみせる色選び、フェースエクササイズなどを講演していただきました。昔と
比べ口唇の形が変化してきて、最近では上唇と下唇の比率が1:1.3のどちらかというふっくらとした
形が多く、顎のラインも変わってきているという興味深い講演内容でした。好感度の高い口もとにする
ための具体的なメイクの仕方のところでは、真剣にメモを取っている女性参加者の姿が印象的でした。
実際のメイキャップデモンストレーションでは、NY、パリコレクションの第一線で活躍されている矢野
先生のテクニックを間近で見ることができ、モデルになっていただいた細矢先生との掛け合いも面白く、
参加者一同、身を乗り出して見入ってしまいました。

デモ終了後は会場を五反田駅前に移し、講師の先生を囲んだ懇親会を開催しました。見学会では聞け
なかった個人的な質問にも親切にお答えいただき、続編もお願いしたいという声も出るなか、夜も更け
て見学会はお開きとなりました。

今回の見学会を振り返ってみると、参加者の約半数は女性で、当学会の男女比率から見ると驚異的な
出席率でした。デパートの1Fの広い面積を化粧品売り場が占めているのを見るまでもなく、女性の心
をつかむには何をすればよいか。歯科界の今後を考えるにあたり、示唆的な見学会であったと思えます。
お忙しいなか周到な準備をされ、貴重な施設見学・ご講演をいただいた資生堂ビューティークリエーシ
ョン研究所の関係各位の皆様、今回の機会を作っていただいた片山会長・元呑副会長に厚く御礼申し
上げます。

中澤 章

受講風景

実技風景

資生堂の見学会で口唇の外形描記法を学ぶ

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科

細矢 由美子

3月に西五反田にある資生堂ビューティークリエーション研究所の見学会に参加致しました。資生堂の研究所にはそれまで一度も伺った事がありませんでした。そそっかしい私は、堅苦しい研究所内で、研究着姿のもっともらしい顔つきをした方々から、それっぽいお話を拝聴する事になるであろうと思いながら出かけました。ところが、到着先では壁という壁に飾られた超アーティスティックな写真に出迎えられ、お口ぽかーん状態でひたすら見とれてしまい、1枚持ち帰れないものかとそればかり気になってしまいました。

施設内の見学は、どこと言って私には特別インパクトを感じるものではございませんでしたが、矢野さんによる唇の形に関するお話は、大変興味深く、楽しく聞かせていただきました。化粧のデモのモデルになりたい方はいらっしゃいますかとの問いに、思わず誰よりも先に手を挙げてしまいました。参加された方々の中には、苦笑を漏らされた方も見受けられましたので、ちょっとヤバイと感じたのですが、日本を代表するコスメティックアーティストである矢野さんから直々にメイクをしていただけるチャンスなど、一生に一度かもしれないと思い、凶々しくも実験動物席に座らせていただきました。

いやはや、さすがにプロは違いました。まずは、化粧筆でパウダーに触れるやり方からして驚きました。固形のファンデーションの上に筆の両面を軽く載せるだけで必要量のパウダーが筆にしっかりと付着していました。おまけに頬に筆が触れるか触れないか程度のタッチで、はけで掃く様に一振りすると、私が普段スポンジでゴシゴシとこすりつけているよりもしっかりと肌にパウダーが載っているではありませんか。驚愕！

本題のルージュですが、外形の記入法は大変勉強になりました。下唇をふっくらと上唇よりも大きく描きあげますと、確かに表情が豊かになりました。さっそく翌日、教わった外形線を真似て口紅を塗ってみました。何せ1-2分でおおざっぱに仕上げたものですから、下唇を大きめに描いた結果、ストロベリージャムがこっぴりのかかった大きなお菓子にかぶりついた後みたいな状態になってしまいました。しかし、少し遠くから眺めれば、何となく良いのではないかと期待しつつ、そのまま出勤致しましたところ、エレベーターに乗り合わせた先生が、怪しい者を見る怪訝な表情を浮かべていました。それでも自分では結構気に入っておりますので、今後はイチゴジャム風ふっくらリップを売り物にしようかと思っております。

日大松戸の池見先生の所では、矢野さんによる講義の時間があるとお聞き致しました。また、鶴見の桃井先生の所でも矢野さんの講義をさっそく企画されるとの事でした。羨ましい。学生に化けてこっそりと潜り込み、受講する方法はないのでしょうか。

次は口紅の色についてのお話を是非ともお聞き致したいものです。中澤先生、御検討くださいますように。

「日本歯科色彩学会入会にあたって」

和田精密歯研株式会社
代表取締役副社長 和田主実

和田精密歯研(株)の和田主実と申します。私は歯科技工士免許は持っているものの歯科技工士としての臨床経験は延べ2年程度で、10年以上スパチュラも握っておりませんので、いわばペーパー技工士です。

歯科技工所経営の立場から学会に入会する場合は、臨床家や技工士としての情報ではなく、人脈を作ったり、その分野の潮流を掴むことが目的になりますが、この度、本会に入会すべきであると判断した理由は非常に単純です。

歯科技工業界は今、インプラントとCAD/CAMがキーワードになっています。審美や咬合とそれを支える材料と造形作業は古くからある歯科技工の主な要素です。

CAD/CAMは歯冠形態を機能的にはほぼ再現するようになりつつありますし、審美的な形態もコンピュータ画面上である程度、操作できるようになっています。最新の材料も手作業だけでは加工できないものが主流になってきました。

ところが30年も前から開発され、現在臨床に対応できるまでに進歩したCAD/CAMシステムも色彩の再現だけは全く手がつけられていないというのが実情です。現在臨床で使用し得るCAD/CAMシステムにおける前歯部の審美性回復や改善は、全て従来の手作業に頼る事が前提に設計されています。特に形態ではなく、色彩の要素からなる審美性は問題点の理論付けから最も遠いところにあると言わざるを得ません。

歯科技工における色の再現は、個々の経験だけを伝える手法は数々ありますが、科学的裏付けには乏

しいものが多いように感じております。

大掛かりな色彩再現のシステム化を早急に求めるのではなく、手作業の範囲内でベテランから初心者にかかを伝える際に、論理的な裏付けを見つけていくことができるだけで歯科技工にとっては大きな進歩であると考えております。

インプラントにおいても多数歯欠損時の治療には歯肉部の補綴が大きな課題になって来ております。今後日本でもインプラントの普及につれオーバーデンチャーの需要拡大が見込まれます。これまでのデンチャーと違い、インプラント支持のデンチャーは時には天然歯以上の咬合力がかかり、金属等で強固な補強がなされていることが前提になります。歯冠修復に比べ、大きな金属が内部に含まれた義歯の自然な歯肉色の再現は、研究数がまだ少ないのではないのでしょうか。

以上、本会に参加させて頂く前のお話でありますので、本会研究者の皆様には稚拙な内容かも知れませんが、今後、皆様からの情報が当社の色彩に関する取り組みに大きなプラスになることを期待するとともに、当社からの情報提供の機会がありましたら、僅かでも皆様への刺激になれば幸いですと考えております。

ー続き：JIS 規格．測色および色差の表示法ー

「歯科用色彩計シェードアイNCC」の付記表現に関して

ーあなたの使用する測色計の特徴をご存知でしょうか。研究発表には下記の条件を記載することになっております。詳しくは前号日本歯科色彩学会ニュースレター40号をご覧ください。

1. 表色の表示には

- 1) 測定方法の種類：分光光度計か刺激値直読方法か
- 2) 等色関数の種類：
- 3) 標準の光の種類
- 4) 照明及び受光の幾何学的条件
- 5) 三刺激値の計算方法
- 6) 測色計の種類；会社名と機種

2. 色差の表示

- 1) 計算方法の種類：色差の計算方法の種類はどの方法を用いたかを明記する。(歯科では ΔE^*ab が多い)
- 2) 基準の物体色の表示： $L^*a^*b^*$ 表色系、または色度座標 xy 及び三刺激値の y によって明記する。
- 3) 基準及び試料の物体色の測定方法：一般に JIS Z 8722 の 7.2(測定値の付記事項) に規定する付記事項及び測定に用いた器械名によって表示する。

そこで、松風のシェードアイについて問い合わせしましたところ、返事が来ましたので、測色条件とか色差の表示方法に従って論文を書くことをお奨めします。シェードアイ使用の方は参考にしてください。松風社にお礼申し上げます。

歯科用色彩計シェードアイNCCの付記表現

①測色系の種類

→刺激値直読型色彩計

②等色関数の種類

→XYZ 表色系の等色関数

③光源の種類

→標準の光 D 65 に近似 (光源はキセノン管)

④照明および受光の幾何学的条件

→歯科用特殊照明/垂直受光方式

シェードアイの幾何学的条件ですが、特殊な形式ですので一般名称はございません。

リング状に発光した光が、センサー先端のチップで拡散されて、0度方向で受光しています。敢えて説明するとすれば「部分的拡散照明/0度受光」ということになります。

〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町 11

株式会社 松風 研究開発部 第3研究室 庄 浩司先生から

NEW BOOK紹介

「歯科医学の色彩学基礎」 日本歯科色彩教育振興会編

歯科医学の色彩学基礎が発行されました。色彩学の歯科向けの教科書がなく、色彩学の講義に必要とされていましたが、本会副会長の元香昭夫先生が中心となって発行されたようです。

全ページは157Pです。内容は色彩の歴史、色の名前とイメージ表現、物体色の表示方法、カラーコーディネートのための色表示体系、配色理論、実用配色事例、色の見え、数字で色を表示する、色差、色材と発色、照明、歯科医学と色彩です。

自習付きプログラムやシェードガイドに形、色に似た色彩感覚実技見本も含まれています。

詳しくは、〒336-0931 埼玉県さいたま市緑区原山1丁目25-25

日本歯科色彩教育振興会までお問い合わせください。1冊3,500円です。

電話 048-811-1911 FAX 048-811-1912

お知らせ

第14回総会・学術大会は、天野義和大会長、佐々木重夫準備委員長のもとで着々と準備しております。是非大勢の皆様のご参加をお待ちいたしております。今回は温泉の本場であり、入浴タイムも設定くださりました。

第14回総会・学術大会は、学術会議傘下の歯学系学会連絡協議会の「後援」をいただいております。

日本色彩学会（歯科ではない）には、環境色彩研究会、測色研究会、色彩教材研究会、色覚研究会、画像色彩研究会、白色度研究会など12の研究部門があり、それぞれがオープンに会合を開いており、最近、色彩教材「測色研究会」に参加しましたが、測色に関する国際・国内規格（ISO, CIE, ASTM, JIS）の基準が後10年、20年かかるそうで、暫く休会となりました。歯科における色彩学の基準についても、用語も含めて統一を図りたいものです。画像色彩研究会は内容が高度で勉強不足が分かりました。

本会の認定士については、必須の講習会の開催について、皆様が参加しやすいように、今回の総会で案を提案したいと思っております。

総会には会長・副会長、監事の改選があります。ぜひ総会にご参加ください。また理事・評議員への他薦・自薦をお待ちしております。7月25日までにご連絡ください。 片山伊九右衛門

新入会員のご紹介（敬称略）

平成17年4月1日以後にお手続き下さった新入会員です。一部はニュースレター39号と重なります。

宮崎 真至	日本大学歯学部保存学教室修復学講座	岡 正信	朝日大学歯学部口腔機能修復学講座
安藤 進	日本大学歯学部保存学教室修復学講座		東京医科歯科大学付属図書館
上江州香実	日本大学松戸歯学部数学		日本大学松戸歯学部図書館
柏木 宏介	大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座		日本歯科大学新潟生命歯学部図書館
鳥井 克典	大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座		平成18年4月1日以後のご入会
藤井 孝政	大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座	笠原 香	松本歯科大学口腔衛生学講座
鷹尾 智典	大阪歯科大学有歯補綴咬合学講座	小澤 有美	明海大学歯学部機能保存回復学講座
中尾 紀子	長崎大学大学院医歯薬総合研究科 医療科学専攻発生分化機能再建学講座 顎顔面病態矯正分野	西村 香	昭和大学歯学部う蝕・歯内治療学講座 朝日大学図書館
広瀬 直子	明海大学歯学部機能保存回復学講座 保存修復学分野	澤田 智史	神奈川歯科大学 顎口腔機能修復科学講座
宮崎 愛	山本金属地金株式会社	小竹 宏明	朝日大学歯学部口腔機能修復学講座
加藤 徹	和田精密歯研株式会社	作 誠太郎	朝日大学歯学部口腔機能修復学講座
横瀬 敏志	奥羽大学歯学部歯科保存学講座 保存修復学分野	吉永 敏明	あい歯科チャンネルシティ博多
山本 宏治	朝日大学歯学部口腔機能修復学講座 歯科補綴学分野	和田 主実	和田精密歯研株式会社
福嶋 千春	日本大学松戸歯学部 う蝕抑制審美治療学講座	森 俊幸	日本大学松戸歯学部 う蝕抑制審美治療学講座
大場 志保	日本大学松戸歯学部 う蝕抑制審美治療学講座	山本 憲廣	日本大学松戸歯学部 う蝕抑制審美治療学講座
		永井 茂之	永井歯科診療室
		天野紫乃	日本大学歯学部保存修復学講座

日本歯科色彩学会会則

第1章 総則

第1条

本学会は日本歯科色彩学会（Japan Academy of Color Dentistry）と称する。

第2条

本学会は、色彩についての基礎的学究を基とし、歯科色彩に関連した問題を追求しこれを通じて歯科医学、歯科医療などの発展に貢献するとともに、会員相互の親睦を図ることを目的とする。

第3条

本学会の事務局は、明海大学歯学部保存修復学講座におく。

第2章 会員

第4条

本学会の会員は、次の通りとする。

1. 正会員：本学会の目的に賛同する者。
2. 名誉会長：会の設立に功績が認められ、理事会の議を経て評議員会の承認を得た者。
3. 名誉会員：本学会に特に功績のあった者で、理事会の議を経て評議員会の承認を得た者。
4. 準会員：歯科大学（大学歯学部）学生、歯科技工士学校学生、歯科衛生士学校学生および理事会の承認を得た者。
5. 臨時会員：歯科医学の研究のために来日中の外国人留学生等で、常任理事会の承認を得た者。
6. 賛助会員：本学会の目的および事業に賛同し、支援する法人や企業などで、理事会の承認を得た者。

第5条

本学会に入会を希望する者は、入会金および年会費を添えて本学会事務局に申し込むものとする。

第6条

正会員、臨時会員および賛助会員は、会費を納めなければならない。なお、年会費は当該年度当初に納入する義務がある。

第7条

会員は機関誌の配布を受け、且つ総会並びに学術大会に出席して発言または業績を発表することができる。

第8条

会員が次の事項に該当する場合は理事会の議を経て除名することができる。

1. 会費を当該年度を含め3年以上滞納した場合。
2. 本会の運営に著しく支障を生じる行為をした場合。

第9条

既納の会費はいかなる理由があってもこれを返還しない。

第3章 総会

第10条

本学会は、正会員からなる総会を行う。

第11条

通常総会は、年1回会長により招集される。ただし、必要に応じて会長は臨時総会を招集することがで

きる。総会の決議は出席した正会員の過半数をもって行う。

第12条

総会は、次の事項を決定する。

1. 役員を選出
2. 予算および決算
3. 事業計画
4. 会則の規定および改廃
5. その他、会の運営に関する重要な事項

第4章 役員

第13条

本学会には、次の役員をおく。

1. 会長 1名
2. 副会長 3名
3. 理事 若干名
4. 常任理事 若干名
5. 監事 2名
6. 評議員 若干名
7. 幹事 若干名

第14条

役員の職務は、次の通りとする。

1. 会長は、会を代表し、会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあった時は、その職務を代行するとともに常任理事会の構成員となる。
3. 理事は、理事会を組織し、重要事項を審議するとともに、会長を補佐し会務を分掌する。
4. 常任理事は、常任理事会を組織し、本学会の運営に関する会務を分担し、企画、執行などについて審議するとともに、会の日常業務事項の処理に当たる。
5. 監事は、会務並びに会計を監査する。
6. 評議員は、評議員会を組織し、重要な事項を審議する。
7. 幹事は、理事を補佐し、実務を分担する。

第15条

役員は、正会員の中から選出し、その選出方法は次の通りとする。

1. 会長および副会長は常任理事会の推薦を受け、理事会および評議員会の議を経て、総会において決定する。
2. 理事は理事会の承認を得て、会長がこれを委嘱する。
3. 常任理事は会長が理事の中から選び、常任理事会の議を経てこれを委嘱する。
4. 監事は、理事会の推薦により、評議員会の議を経て総会において選出する。
5. 評議員は、理事会の推薦により、総会において選出する。
6. 幹事は、会長が理事会に諮り、これを委嘱する。

第16条

役員の任期は、2年とする。なお、再任を妨げない。但し、任期途中で補充された役員の任期は、残任期間とする。

第5章 役員会

第17条

役員会は、理事会、常任理事会、評議員会とする。

第18条

理事会：会長、副会長および理事は理事会を組織し、本学会の目的達成のため必要事項を審議・企画し、実務を処理する。

第19条

常任理事会：総務・庶務・会計・編集・学術・渉外などの運営を担当する理事を常任理事とし、実務を分掌、処理するため、理事会とは別に常任理事会を組織し、会の運営に当たる。

第20条

評議員会：評議員会は、役員選出・会計・事業・会則・その他、会の運営に関する重要な事項について審議する。

第21条

役員会は構成員の3分の2以上の出席をもって成立し、議事は出席者の過半数をもって決定する。

第22条

監事は、役員会に出席して、意見を述べることができる。

第23条

役員会の議長は、必要があると認めるときは、構成員以外の者の出席を求めることができる。

第6章 事業

第24条

本学会は、学術大会および講演会を年1回以上開催する。

第25条

本学会は、機関誌「歯科の色彩」を年1回以上発行する。

第26条

本学会の目的達成のために、各種委員会などを組織し、必要な事業を行う。

第27条

会員名簿を発行する。

第28条

本学会の学術領域において優れた業績のあった者の表彰および若手研究者の育成のために日本歯科色彩学会賞および日本歯科色彩学会奨励賞を設ける。なお、各賞の推薦、応募、選考、表彰等に関する必要事項は別に定める。

第29条

認定士の認定等：本会は認定士の認定を行う。なお規則および細則は別に定める。

第7章 会計

第30条

本学会の経費は、会員からの入会金および年会費のほか寄付金その他をもって当てる。

第31条

本学会の入会金および年会費は、次の通りとし、年度当初に納入するものとする。

1. 入会金 正会員 5,000円
準会員 5,000円
賛助会員 5,000円

2. 年会費 正会員 10,000円
準会員 5,000円
臨時会員 3,000円
賛助会員 30,000円(1口)以上

第32条

本学会の会計年度は、4月1日から翌年3月31日までとする。

第8章 会則の変更

第33条

本会則を変更するには、役員会の議を経て、総会の決議を必要とする。

付 則

会費に関する規定

1. 本会則は、平成5年11月14日より実施する。
2. この規定は、平成11年7月11日から一部改正し、施行する。
3. この規定は、平成12年7月8日から一部改正し、施行する。
4. この規定は、平成14年9月29日から一部改正し、施行する。

